

e-ビーフNEWS 北の牧場から

November 2015

十勝の冬支度

遠くに望める大雪山系は真白に雪に覆われ、十勝をカバーするように連なる日高山脈にも、山頂から薄ら白くなってきました。先日、ついに街にも雪がチラつき初雪を観測。平年に比べ2週間早いそうです。山に雪が乗ると山から吹き下す風が冷たく、一層寒さを感じます。桶の水は凍りつき、路面凍結が始まります。急な雪で街の冬支度も大忙し。家の周りや菜園の片づけ、庭木の冬囲い…やる事がありますね。スタンドは冬タイヤ交換で長蛇の列。一大イベントになっています。街中の公園でも、鳥たちやリスたちも騒がしく飛び回っています。

農作業も最終段階に入り、ビート(砂糖ダイコン)の収穫が始まりました。さあ間に合うかどうか、降雪との競争です。TPPでこの十勝の農業も寒風が吹き荒れそうです。馬鈴薯、豆、小麦、ビート、今まで先人が培ってきた循環型輪作体系が壊されそうです。肉牛も同様、酪農基盤の体系にジワリひびが入り、広がる可能性を残しました。与えられた試練、情報を収集し、ともに考え前向きに打破してゆきましょう。



活動のお知らせ

下記ご案内、ぜひご参加ください

- 11月6日(金) 北海道畜産公社(帯広) 10:00~ 第5回 北海道肉専用種枝肉共励会
13:15~ 第20回 北海道肉牛研究大会&環境リサイクル肉牛協議会シンポジウム
新得町 道総研 畜産試験場 テーマ「北海道型肉牛生産の課題と展望」
当会報告;TPP妥結前夜—北海道肉牛が残された道/
近況マーケット分析からのシュミレーション
- 11月7日(土) 新得町 道総研 畜産試験場 8:30~ 北海道アンガス牛振興協議会20周年記念モニュメント除幕式
9:00~ 現地検討会 十勝清水コスモスファーム、上田畜産

NEWSばか読み

- 首相 TPP閣僚会議に農産物交渉決着指示 9/26:形振り構わず
- 農相 供給増でバター追加輸入せず年末需要クリア
9/26:TPPとの関わり方
- 8月消費者物価0.1%下落 食品の値上げで実感なき下落
9/26:庶民の実体経済悪化
- NZ TPP譲れぬ乳製品市場の実情 9/29:各国相違ありきは当たり前
- NASA 火星に水 生命存在の有効な証拠発見 9/29:火星人に会いたい
- 農林中央金庫 新規就農者に60万円助成
9/30:金利も付いてくるのでは
- TPP交渉 牛肉セーフガード4年間の発効なしで廃止
10/1:実態が次々明らか
- 山形県 再エネの地産地消目指し民間と新電力設立
10/1:里山の活力発揮
- イオン 契約全農場でGAP等の安全認証実施
10/1:パフォーマンスで終わらないようにね
- 松尾ジンギスカン 道内地方に小型店舗を展開
10/1:地方毎に特徴ある店があるよ
- 北海道内景況感 2期ぶりに悪化 観光は好調維持
10/2:地方の創生は滞り
- 新型ノロウイルス 関東で流行の恐れ 10/2:ウイルスは進化する
- 新米3年ぶりに値上がり 飼料米生産転換で需給締まる 10/3:薄いな

- TPP大筋合意 動き出す巨大市場 10/5:さて
- 政府 TPP大筋合意で国内対策着手 10/7:決定ありき
- 第3次安倍内閣発足 1億総活躍社会創出
10/8:戦中の総動員令と瓜二つ
- コンビニ業界再編 ファミマ・ユニー統合 10/8:3グループに集約される
- ソフトバンク スマホで農作物生育情報e-カカシを発信
10/8:農業IT化進む
- 生乳取引先入札制を導入 10/10:ミルクの共販から個別評価へ
- TPP輸出拡大は 既定率、検疫制限で不透明 10/14:絵に描いた餅
- 農水省 畜産クラスター事業全国で566件 10/14:事業の共同化が進む
- ローソン 北海道味紀行で8品目採用 10/14:コンビニの力侮れず
- クボタ 熊本で米粉パン生地生産加工に進出
10/14:農機具メーカーから積極脱皮
- 出光興産 整腸作用があるカシューナッツ殻配合鶏用混合飼料発売
10/16:中身くれ
- 農水省 飼料米生産コスト5割削減目標マニュアル作成
10/17:いつまで続く8万円
- ナカバヤシ(アルバム大手)閑散期の労力を農業へ
10/17:総合的コーディネートが必要
- 政府 TPP対策に農家拠出のチェックオフ制度を検討
10/20:泥棒に追い金
- JA湧別 農家の経営継承事業が順調 10/22:農家の一般開放化を急げ
- 田んぼの小作料 反当たり1万円に 下げ最大 10/23:稲を作るぞ
- 全日本ホルスタイン共進会 10年ぶりに安平で開催 10/24:継続を望む

東京直近NEWS (10/28 Shi-REPORT)

ホルス 枝相場は若干の上げ含みの状況。枝肉相場は高値維持し@1150程度での取引。販売状況は、枝肉価格に見合うような正肉価格ではない。時期的に、鍋需要への期待高いが上位部位意外のスソものの動きが鈍い。構成比の高い、モモバラや切落し需要が低迷しており産地はパーツ販売に苦戦し収益的にも悪い。再三の値上げから、末端へは売り場縮小と価格が見合わなくなり畜種変更や品種変更を招いた。大手メーカーも販売状況は変わらず、取扱い頭数の枠が大きいことから在庫過多になっており、投げものの価格の情報が後を絶たない。需要期突入目前も、引合い強い部位は限定されており、現時点では、枝肉高の正肉安値の状況。

経産牛 10月も枝相場は若干の下げ傾向を示す。C1等級で@600台と一時より下げに転じる。販売は頭数の慢性的不足から原料確保に苦戦は変わらず。輸入物も高値傾向から、加工筋は稼働低下している。挽き材について、量販関係は国産から輸入原料の使用にシフト傾向。値上げ状況から価格見合わずカウミート使用に切替と聞き及ぶ。生協筋などは、変わらず国産使用しているが量目変更等の実質値上げを行い使用量の減少傾向。挽き材は使用頻度の低下から、市中在庫は膨れてきている可能性強く、全体的に流通価格値下げ実施し在庫消化する傾向。パーツについては、慢性的に不足傾向と焼肉業態好調の影響が引合いは引き続き強い。

左先生の畜産学研究NEWS

10月の新聞報道はよるめく米国を日本が支えて大筋合意に漕ぎ着けたTPPの影響を報じています。今後参加各国の国会や議会承認など流動的な面を残しながら日本がこれまで5年以上かけて非公開で交渉してきた全容は10月20日に発表されました。影響は農林水産物と鉱工業品全体で9018品目におよび、農林水産物の関税撤廃率は81%です。外食産業や消費者は安い輸入食品に期待し、企業、特に車の部品業界は輸出展開に弾みとなり、安倍政権も経済成長に大きな成果と歓迎しています。日本の「聖域」重要5農産物も586品目中174が発効即撤廃で、関税が維持されても大幅削減や無関税枠の設定など農業生産者にとっては大打撃です。新聞により識者の見解は賛否両論あります。世界の共通ルールに沿って、安心安全な日本食材をどう守るのか、時代の価値観は大きく変わり、問われるのは日本の国民だと思えます。e-びーふNews23号学術情報は下記の5件で、「日畜会報86:3」の続きとASJ86の抄録です。それ以降に届いた情報は紙面の都合で次回に回します。

1. 2015.8. 日畜会報86:3 遺伝子型をデザインした黒毛和種の効率的作出の試み (福井えみ子 他 宇大)

肉牛の遺伝的能力評価法の1つである育種価の高い黒毛和種長期不受胎雌牛の卵子を利用して成長ホルモンや脂肪酸不飽和化酵素の遺伝子型を組み合わせて卵子の体外成熟・受精・培養により胚盤胞を作出し、遺伝子型デザイン子牛の生産を試みたところ、黒毛和種雌牛4頭のうち2頭が受胎し、雄1頭が生まれ、育成・肥育の結果31ヶ月齢846kgに至り、増体が全国平均よりも高く、枝肉格付けはA4という好成績でした。

2. 2015.8. 日畜会報86:3 Computed Tomographyを用いた黒毛和種

胸最長筋におけるあらい脂肪交雑の推移 (山下直樹 他 帯畜大)

肉牛の枝肉格付けでは6・7肋骨間胸最長筋の脂肪交雑評価値が重視されるもののロース芯全体の脂肪交雑の様相を反映しないとされています。27・29ヶ月齢で屠畜した黒毛和種去勢牛46頭の6・7～12・13肋骨間のリブロースブロック肉を1週間後にCT画像を撮影、11・12肋骨間の高精細画像から、買参者が敬遠するあらい脂肪交雑割合の肋骨部位間の推移と種雄牛の影響を検討しました。その結果、肋骨部位間で極端にあらい脂肪交雑が発現する特定部位はなく、育種改良に繋がる種雄牛間差も見られませんでした。

3. 2015.8 ASJ86: 7黒毛和種経産牛の初乳中免疫グロブリンと脂溶性ビタミンの関係 (王蒙東 他 京大) 抄録

黒毛和種繁殖雌牛の初乳中免疫グロブリン産生への脂溶性ビタミンの役割を検討し、初乳中VtA含量が高いと初乳中のIgG含量も高くなることが推測されました。

4. 2015.8 ASJ86:7黒毛和種肥育牛血漿がウシ脂肪細胞遺伝子発現に与える影響と筋肉内脂肪酸組成との関係 (渡邊一史他 東北大) 抄録

牛血漿についてウシ筋肉内脂肪前駆細胞株の5つの遺伝子発現を検討し、肥育中に筋肉内脂肪不飽和脂肪酸割合の高・低個体の予測が可能と思われました。

5. 2015.8.ASJ86: 7霜降り黒毛和牛の食味特性に及ぼす脂肪含量の影響 (飯田文子 日女大) 抄録

霜降黒毛和種牛(34頭)の脂肪含量(23.8～48.6%)と食味性との関係を検討し、加熱香気や味、脂肪の口などの感覚複合効果としての食味性には粗脂肪含量36%が適切と思われました。

道総研 畜産試験場NEWS

「TPP妥結前夜 北海道肉牛の残された道～近況マーケット分析からシミュレーション」

第20回北海道肉牛研究大会シンポジウム発表 2015.11.06

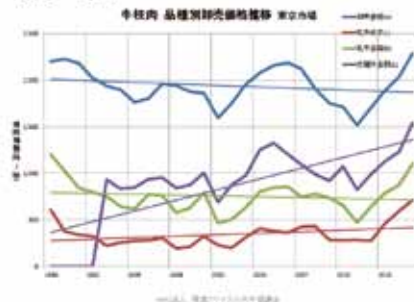
TPP妥結前夜ー 北海道肉牛が残された道 近況マーケット分析からのシミュレーション



NPO法人 道研ノライヴ肉牛研究センター 花岡 登一

※NPO法人、道研ノライヴ肉牛研究センター

概要ー需給

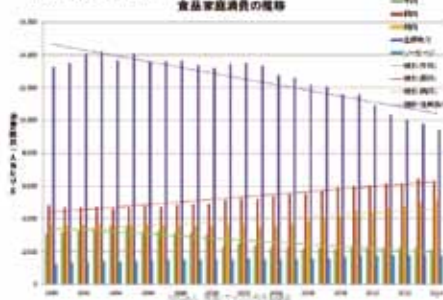


問題提起

- ・牛肉の消費構造
- ・肉屋の事情
- ・生産の事情
- ・行政指導機関の対応
- ・その他

資料は、公表されている農水省、経産省、担振、担振(担)農産物販売団体の、日本食肉格付協会、日本畜産人工研協同協会の資料を参照して作成しています

牛肉の消費構造



肉屋の事情

